

■ 近森会グループよさこいチーム「ちかもり」 ■

初出場で地区競演場連台会奨励賞を受賞！



よさこい実行委員会（診療支援部部長補佐） 山崎 啓嗣

祭り当日はどこの競演場、演舞場に行っても数多くの方々が声を掛けてくださり、同じ職場の仲間を見かけた踊り子は、表情が自然とほころび、本当に楽しく演舞することができました。踊り子参加のために、各職場の皆さまには勤務調整などご協力をいただき、快く参加の後押ししていただいたことに感謝します。

おかげさまで、「ちかもり」は、第57回よさこい祭りに初出場ながら、見事「地区競演場連台会奨励賞」を受賞いたしました。今年よさこい祭

りには、初出場の21チームを加え計188チームもの参加があったようですが、いきなり受賞22チームに入り、3日目の全国大会、後夜祭まで参加させて頂くことができました。

祭りも3日目となると、医療に従事する病院職員にとっては勤務調整もたいへんであり、急遽全国大会、後夜祭への出場が決まった時は、スタッフ一同大喜びすると同時に、どれぐらいの踊り子が参加できるのか不安でした。しかしながら当日は、9割以上の踊り子が参加することができ、各職場のス

タッフの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

踊り子が演舞する上での一体感はもちろんですが、参加するために各職場で協力こそがチーム力であり、チーム医療を展開する近グループの底力ではないかと実感することができました。

「ちかもり」が医療の現場だけでなく、よさこい祭りという違った分野でも高知の皆さんを元気にできるよう、ずっと続けていければと願っています。



医 ● 療 ● 安 ● 全

医療安全の取り組み



近森オルソ
リハビリテーション病院 5階
看護部長 中谷 明未

近森オルソリハビリテーション病院は整形外科のリハビリテーション病院です。リハビリテーションを必要としている患者さんに多職種で関わる「チーム医療」を推進しています。

医療安全委員会は医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、医事の計12名で活動しています。

取り組みのひとつとして今年度の5月より、毎月医療安全ラウンドを実施しています。毎月の担当者は、医療安全委員会の委員3名、ラウンド時の視点として、環境、整理・整頓、個人情報、薬剤関連、感染管理を取り上げています。

通行を妨げている自転車や車椅子の整理・整頓、使えばなしや不必要な物品の後かたづけ、それに気付かない段差の場所の提示などを行い、改善しています。

患者さん、働くスタッフの安全確保のため、院内各所の危険を察知し、対策の必要な場所は早期に対応し、安全な院内環境の保持と事故防止を目的として引き続き活動していきます。

訃報に接して



近森 正幸

日本の腎臓移植の草分けとして知られ、日本移植学会理事長を務めた太田和夫先生が7月20日、79歳で亡くなった。先生は臨床工学技士の制度をつくったり、中山太郎議員とともに臓器移植法に関わり、現在の腎不全医療の骨格をつくりあげたといえる。また、腎臓病の総合医療センターをつくり、女子医大方式を確立したことでよく知られている。

近森とのご縁は、先代の近森正博が1970年代はじめに先生のもとで研修を受け、近森病院に透析を導入したことにはじまる。アメリカやヨーロッパ

の人工臓器学会にもご一緒させていただいたし、講演やシャント手術で高知へもよく来ていただき、ご指導を受けた。現在の近森の多職種によるチーム医療やセンター化の発想の種をまいてくれた恩人でもある。

お葬式に出席するため東京杉並の斎場に行ったその日は、今年いちばんといえるほどの猛暑日で、東京の暑さは尋常ではなかった。お葬式は、温厚で優しく先生を、ひとりの人間として、一医療人として温かく見送ろうというご家族の思いが表れていた。小さな焼香台のすぐ横で、奥さまがひとり一人にご挨拶をされており、外の暑さに比べ爽やかな気持ちにさせてくれる心のもったお葬式であった。

先生が活躍した時代は、いまと比べると臓器移植というのはまだまだ理解されずたいへんな時代であった。昨年「臓器移植法」が改正され、先生は7月からの施行を見届けるように息を引きとられた。心からご冥福をお祈りしたい。 理事長・ちかもり まさゆき

私の趣味

茶道の精神

近森病院第二分院医事課 片山 悠

今日まで脈々と受け継がれてきた日本の伝統文化「茶道」。きっと奥が深いのだろうと思っただけでしたが、近森会茶道部の日々の稽古の中で、それは想像以上のものでした。

茶道では季節を大切にします。季節の花、お菓子、茶道具に至るまで調和を考え、お茶を点てる作法も、暖かい季節・寒い季節とで少し異なってきます。

そして、お茶を点てる準備から使った道具を片付けるまでの一連の動作は、無駄な動きは無く、全ての道具を丁寧に扱い、所作も美しく見える様に心掛けます。



それらの全ては、生涯にただ一度きりという「一期一会」の精神でお客様を迎える亭主の心からのもてなしです。そして、招かれたお客様は亭主のもてなしに感謝します。そうして互い同士が敬い合っていく……。人との関わりでとても大切な事を、茶道を通じて改めて認識させられます。この「もてなし」と「感謝」の心は、稽古中、先生からもよく言われる教えです。

茶道の稽古を始めて2年と少しの私は、一連の動作を覚えるのに精一杯ですが、日常生活において、常に相手を敬う気持ちを忘れないという茶道の精神を心掛ける様にしていかなければならないと改めて感じます。

9月の歳時記 酔芙蓉

近森病院整形外科外来
主任看護師 浅沼 信子

開花時期は8月～10月頃。一日花で一重咲きと八重咲きがあります。芙蓉とほとんど同じ形の花ですが、朝開花したときは白花です。夕方になるとつれだんだんと赤くなるというとても珍しい花で、「酔っぱらって赤くなった」とのことでのこの名前になったのでしょうか。昔から美しく、しとやかな顔立ちのことを「芙蓉の顔」と言うそうです。



絵・総務課広報担当 公文幸子

患者さんのニーズに 真摯に向き合う意味

近森病院看護部長 久保田 聡美



昨年から退院時アンケートに「印象に残ったスタッフ」として患者さんに具体的に名前を書いていただくようになって以来、毎月のアンケートを読むことは私の楽しみの一つになっています。

「皆さんに良くして頂きました」、「〇〇病棟のナース全員」などと書いていただくのは何より嬉しいですが、ナースの名前を具体的に書いていただくのも励みになります。

最近では、医師、看護師はもちろんのこと、リハスタッフの名前を書いていただくことも少なくありません。そんな時、看護部長としては「こりゃあ看護もうかうかしてられないなあ」という気持ちになります（笑）。

厳しいご意見も少なくはありませんが、それぞれの退院時アンケートを読みながら感じるのは、その患者さんとの「治療」や「ケア」そして「リハビリ」における具体的な場面において、患者さんのニーズに向き合うスタッフの姿勢です。その姿勢を患者さんは驚くほど冷静に、そしてしっかりと観て評価されています。

ナースに限ってみていると、具体的に名前が挙がるのは1～3年目までに多く、日頃の仕事を振り返ってみても「さすが患者さんはよく見ていらっしゃるなあ」と納得するスタッフばかりです。少し不器用でも、患者さんの話に一生懸命耳を傾け、患者さんにとって最善のケアを考えている姿が

目に浮かぶようです。

急性期医療の現場では、目まぐるしい変化のなかで、日々の業務に流されがちです。そんななかでも患者さんにきちんと向き合うケアを何より大切にする「ダイヤの原石のような輝きをもったナース」に光をあててくれるアンケートに出会う度に、身の引き締まる思いを感じています。

乞！熱烈応援

私の心がけていること



近森オールソリハビリテーション病院
6階 看護部長 山崎 成美

4月からオールソでの勤務となりましたが（1年間近森リハビリテーション病院へ研修）まだまだ仕事は十分にこなしている所までいきません。抱負とまでは行きませんが私がとても大事に思っていることは自分には無理だと思えることがあってもとりあえず取り組んでみる、やってみるといことです。物事にぶつかっても何とか努力を積み重ねていると出てくるものです。日々いろいろなことがあり落ち込むこともあります。物事を前向きにとらえ次のステップとしていくようにしています。

まだまだ未熟で様々な勉強も必要だと感じています。おっちょこちょいで先走る所もありますが1日1日を大事に慎重に仕事に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

主任就任の抱負



近森オールソリハビリテーション病院
5階 主任看護師 岡村 美紀

近森会グループに就職して16年目となり、このたび主任心得の辞令をいただきました。整形外科病棟で勤務し、オールソへ異動して2年が過ぎました。異動の当初は、急性期看護とのギャップに少々戸惑いもありましたが、今では患者さんとゆっくりと向き合う時間が多い回復期看護を楽しんでおります。当院は、合併症を持つ高齢の方が多く入院して来られます。患者さんに触れて見て聞いて日々の観察を怠らず、整形外科専科のリハビリテーション病院として看護の役割を果たしていきたいと思っています。そして、人との出会いを大切に、チーム医療へ貢献できるよう努力していきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

お知らせ

第18回 秋の大運動会

日時 9月19日（日曜日）

9：30から開会式

場所 高知女子大学池キャンパス



学校法人平成学園理事長
大野香葉美先生

7月29日に、高知県の少子対策課の企画により、「子育て出前講座」を開催しました

子育て中の、お父さん・お母さん職員が参加しました！

－ 3TO/VHO (巻き爪矯正技術) －

近森病院形成外科部長 赤松 順

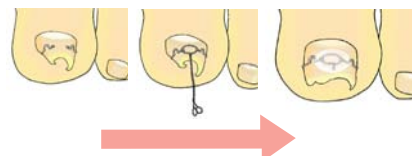


意外に多くの方が陥入爪や巻き爪で悩んでおり、色々な治療法があります。その一つVHOとは、ドイツで開発された巻き爪矯正技術の名称で、Virtuose Human Orthonyxieの頭文字を取ったもので、「熟練の技による人間的な巻き爪矯正法」というような意味だそうです。

爪を切ったり、剥がしたりせずに、ワイヤーを爪に引っ掛けるだけなので、侵襲が小さく、痛みも少ないので無麻酔で施行可能です。

専用のワイヤーを爪の形に合わせて湾曲させて、爪の左右にひっかけて専用フックで巻き上げます。三つの部品を使うことにより3TO/VHOともい

います。ワイヤー部分は、人工爪でカバーしますので、施術後、靴を履いた



り、入浴したり日常通りの生活が可能です。

日本では、ライセンスを持った医師が施術します。人工爪の部分はネイルアートも可能ですが、当院では私が施術しますのでセンス良くという訳にはいかないのが難点です(^^)。

第70回地域医療講演会 2010年7月9日(金) 18:30



穏やかな口調で語られる講師の新田隆先生

心房細動の外科治療



ハートセンター
心臓血管外科部長 入江 博之

7月9日(金)日本医科大学第二外科学教室心臓血管外科教授であり、不整脈手術のスペシャリストとしてご高名な新田隆先生に「心房細動の外科治療」と題してご講演をしていただきました。

心房細動を外科的治療で治す maze (メイズ) の変法である Radial (ラディアル) 手術を広められ、良好な成績を上げておられます。とくに僧帽弁不全症などの弁膜症手術に際し、同時にこの手術を行うことが多く、当院でもかねてから施行しておりました。幸い規則正しい洞調律にもどった場合は脳梗塞の危険性低下が期待できます。

ともすれば難解になりがちな内容を、先生のお人柄がしのばれるように、理解が進んだように思います。たいへん有意義な地域医療講演会になりました。

よき友くすし

7

体質、状態にあった一包を！



近森病院薬剤部 猪野 由理

な効果効能があります。葛根湯を例にあげると葛根、大棗、麻黄、甘草、桂皮、芍薬、生姜と7種類もの生薬が入っており、効果効能もかぜの初期症状、鼻炎、神経痛、肩こり、じんましん……、と実に多岐に渡ります。

葛根湯以外では、便秘、滋養強壮、食欲不振、更年期障害・不眠・神経症など様々な症状を改善する漢方薬があります。

漢方薬は安全と思われがちですが副作用が出る場合もあるので、気になる症状があれば漢方専門家の先生に診てもらい、自分の体質、状態にあった一包を見つけてもらうのも良いかもしれません！

● 漢方薬の上手な飲み方

- ① 一般的には食前、又は食間に服用
- ② エキス顆粒はぬるま湯に溶かして服用すると効果UP
- ③ 味が苦手な場合はオブラートに包んで服用してもよい

みなさんは漢方薬をどれくらいご存知ですか？ 知っている漢方といえば、まず葛根湯を思い浮かべる方が多いと思いますが、実は近森会に採用されているだけでも100種類近くあるんですよ！

漢方医学とは東洋医学の一部で、現在一般的に行われている西洋医学とは異なった考え方で診断・治療をします。漢方薬はもともと持っている人の自然治癒力を高めることを基本としているそうです。

漢方薬にはいろんな生薬の成分が配合されていて、単一ではなく実に色ん

お知らせ

さんしん
沖縄三線演奏会

演奏者 外山剛士
平成22年9月7日(火)
12:50～13:20
新館二階フロアにて



第75回地域医療講演会

「日本一の循環器施設の作り方」
講師 財団法人日本心臓血圧研究振興会
附属榊原記念病院
心臓血管外科主任部長

高橋幸宏先生

平成22年9月28日(火) 18:30～
近森病院管理棟5階会議室

回復期リハビリテーション病棟の運営について

近森リハビリテーション病院事務長 内田 陽子



平成22年7月22、23日に岐阜市長良川国際会議場・岐阜都ホテルで第60回日本病院学会が開催され、ワークショップ「先端事例に学ぶ病院経営活性化の糸口」において、「回復期リハビリテーション病棟の運営」と題して発表しました。

私には、多少気おくれするタイトルでしたが、開院以来「患者さんがどのような障害があっても、住み慣れたと

ころでその人らしく安心して生活できるように適切なリハビリテーション医療サービスを提供する」という理念の元、チームアプローチを実践している当院の取り組みについて紹介しました。

回復期リハビリテーション病棟の運営には、急性期、維持期との連携、また充実したリハビリテーションが重要です。特に当院の豊富なマンパワーで

提供するリハビリテーションによる臨床成果と健全経営を示すことができました。今後も「質の向上」を図り、患者さん、職員の満足度の高い病院を目指していきたいと思えます。

初めての発表でたいへん緊張しましたが、



同行してくださった管理部長、リハ部長また座長の先生方に助けていただき、なんとか終了いたしました。講演を聞いてくださった方から素晴らしい取り組みですね、というお声をいただきました。改めてスタッフの日々の努力に敬服し、誇りに思う機会をいただきありがとうございました。

ハッスル研修医

何事にも積極的に

初期研修医 村岡 朋美



栄枝先生と一緒に

こんにちは。未だにあたふたと院内をうろろろしている研修1年目の村岡朋美です。そんな私に皆、いつも優しく接して下さるので毎日楽しく働いています。

科の垣根が低く、どの病棟に行っても疎外感なく溶け込める所やマイペースに仕事が出来るところがとても居心地がいいです。今ではこんな風に思っていますが、働き始める前は正直、カニ蔵研修医がいていた「super resident or death」になるのではと思っていました。元々、受け身で创作的なことはできないのですが、恵まれたことに一緒に成長していこうという精神の同期たちのおかげで、ちゃっかり引っ張っていつもらっている状態です。

栄枝先生にも「superは無理でもgood residentになってもらえるように頑張るからね！」といていただきとても嬉しかったです。今の私の目標は受け身をやめて、「何事にも積極的に行動を」です。

まだ中途半端で踏み出しては引っ込みと挙動不審だとは思いますが、どうぞ温かい目で見守って下さい。

リレーエッセイ

モグがうちにやってきた



近森病院医事課 織田 由季

そう。あれは、あるいつもと同じありふれた日曜日のことでした。手作りパンのトーストとお気に入りのアールグレイの香りが漂うリビングで静かな日曜日の朝(そうそうイメージは「ローマの休日」)をのんびりと過ごしていたとき、「わたしの友達が犬なんです…」から始まる一本のメールの着信音が平穏な時間を切り裂いたのです。

そのときです。たまたまつけていたテレビからソフトバンクのCMが流れ



てきたのは…。「ははあ〜。納得、納得」妙に説得力のあるそのメールには、「柴犬をもらってくれる人はいませんか?」と機密文書の暗号のように難解な文で書かれていました。送ってきた人は、そのくらい切羽詰っていたのでしょう。意味は分かりませんでした。タイミングってのは、恐ろしいもので…。たまたまペットOKの家に引っ越していたわたしは、我が家にモグ(柴犬)を迎えることになったのです。

ちなみにモグという名前は「わあ〜、モグラミたあ〜い」というあたしの魂の叫びと共に決まりました。あのシャウトの後では、他の名前なんて思い浮かぶはずありません。それからというもの、もう「カワイくて」「かわいくて」「可愛くて」「きゃわいい〜!!」犬なのにネコかわいがりしています。

ってなわけで、今日はここまで。モグがうちに来てからのお話は、次のときのネタに取っておきましょう。ちなみにネコが飼いたい方は是非ご一報を!!

第71回地域医療講演会 2010年7月16日(金) 18:30

災害現場をシミュレーション

近森病院呼吸器外科部長 山本 彰



ング論を研究テーマとされており、JICA 国際緊急援助隊 (JDR) 医療チームの一員として、国外の大規模地震へ

の派遣経験に基づいた先生の提案は有意義なものでありました。

近森病院は2009年9月に災害拠点病院に指定され、大地震や大規模事故において果たす役割はこれまで以上に大きくなってきました。

今回の講演は多くの職員の意識向上に寄与し、また9月25日(土)の当院の災害実働訓練に生かされると思われます。



今回は院外の27施設63名を含め、137人の多くの方の出席をいただきました。

講師の東亜大学医療学部医療工学科救急救命コース准教授の中田敬司先生は、持ち前の巧みな話術で、参加者に質問を投げかけ、災害現場のシミュレーションを提示されました。危機管理のエキスパートで、チームビルディ

第72回地域医療講演会 2010年7月20日(金) 18:30

診療国際化に
本当に必要なもの

近森病院循環器科科長

中岡 洋子



7月20日に押味貴之先生をお招きし『診療国際化に本当に必要なもの』という演題でご講演いただきました。

先生は立命館大学国際関係学部、

旭川医科大学医学科を卒業後、米国CCHCP (Cross Cultural Health Care Program): 医療通訳者養成プログラムと医療通訳トレーナー養成プログラムを終了され、日本人で初めて米国CCHCP 認定医療通訳トレーナーの資格を取得されています。

現在は日本大学医学部で医学英語コミュニケーションを教える一方で、医療英語、医療通訳、外国人医療について執筆、啓発、育成活動に携わられています。

日本には現在221万人の外国人登録者と835万人の外国人旅行者が存在し、その8~9割が英語圏ではないそうです。彼らが医療機関を受診した際、言葉、文化、制度、医療知識の壁は大きく、医療機関では多言語医療に対応できるよう準備が必要というお話でした。

なかでも、具体的に何を最優先に準備しておくべきか(多言語同意書、問診票、検査/処置の説明書、英文診断書の雛形)、医療通訳とは何か(「何も足さない、何も引かない、何も変えない」原則)などを、ロールプレイを交えながら楽しくご説明いただきました。

確かに私自身、これまで外来で数回外国人の診察にたずさわったことがあり、国際医療交流がすすむにつれ、高知でも日ごろからの備えが大切であることを実感しています。たいへん興味深く、有意義な時間を過ごすことができました。

Chikamori ★ Kitchen 第6回のメニューより

カルボナーラ

臨床栄養部管理栄養士
主任 内山里美

作り方

- ①鍋にたっぷりの湯を沸かし、塩を入れパスタをゆでる。
- ②Aの材料をボウルに入れ混ぜておく。
- ③フライパンを熱し、弱火にしてオリーブオイルとにんにくを入れ炒め、香り移す。
- ④ベーコンとみじん切りにした玉ねぎを入れ、焦がさないように炒める。
- ⑤白ワインをいれ、少し炒め、アルコールをとばす。
- ⑥火を止め、フライパンにゆであがったあつあつのパスタを入れ、Aを一気に入れ、すばやく混ぜる
- ⑦皿に盛り、上から好みでブラックペッパーを入れる。

今月は第6回のメニューから、カルボナーラをご紹介します。カルボナーラは、パスタの上にふりかけるブラックペッパーが炭の粉のように見えるという説から、「炭焼職人風」とも言われます。ソースをなめらかにするコツは、卵に火が通りすぎないようにすることです。生クリームと牛乳の割合を変えて、さっぱりにも、こってりにもできます。みなさんでアレンジして、オリジナルのカルボナーラを作ってください。

材料 (1人分)

- ・スパゲッティ 90g
- ・塩 適量
- ・ベーコン 40g
- ・にんにく 1/2 かけ
- ・たまねぎ 1/4 個
- ・オリーブオイル 適量
- ・白ワイン 大さじ2

【カルボナーラソース】

- ・生クリーム 40ml
- ・牛乳 40ml
- A { ・パルメザンチーズ 大さじ2
- ・塩・コショウ 少々
- ・卵 L1 個
- ・ブラックペッパー 適量

広報に夢を託して

2010 ちかもり初出場よさこいの夏に

円山部長の似顔絵を描いた

この6月の第13回公開県民講座は病理診断部の円山英昭部長を中心に盛会裡に終了したが、その際の円山部長の似顔絵入りチラシを思い出して欲しい。代理店から提案された臓器の載ったチラシを見たとき、もうちょっとインパクトが欲しいかも？と感じた広報担当の公文さんが、円山部長の似顔絵を描いた用紙を



そっと周りに見てもらったことで、あの評判の良いチラシが出来ることになった。

漫画家志望から「医療の質管理委員会」へ

小学校時代、友だちの顔や動物の絵を描いて喜ばれた記憶が、高校生になって将来の進路を考えたとき、とりあえず漫画家に挑戦してみよう！と思い立つきっかけのひとつになったようだ。書店を営む両親の影響で、子どもの頃から絵本に囲まれて育ったことも関係しているかも知れない。

漫画家を夢見て高知大学に入学し、絵画やデザインを学び始めると、「どうやら自分には絵の才能がない」と、今から思えば随分後ろ向きとも思える判断を、自分で自分にサッサと下してしまった。それでも、やはり諦めきれなかったのか、大学卒業後に思い切った行動に出る。

漫画作品を仕上げた東京の出版社に持ち込んだのだ。が、有名編集者から「あなたの作品は、ごく一部の人は熱狂的に支持されるでしょうが、一般に広く支持を集めるのは難しいかも知れません。気長に挑戦してください」といわれ、当面は漫画家を諦めることにして、高知市の自由民権記念館に期限付きで就職。数カ月後、やはり正職員で勤めたいと探し始めて受験したのが、近森会の「医療の質管理委員会」の担当スタッフだった。

念願の広報担当で絵の出番も増えた！

6年目に入ったこの春、かねてからの念願だった広報担当として、「ときどきは絵も描かせてもらえるポスト」に就き、種々の仕事の合間には絵を描いている。赤松順部長連載の身体図を描いてい



『ひろっぱ』人物ルポ用書き下ろし似顔絵はER根岸正敏診療部長のお顔を！「皆さんに人気があって、とっても優しいようなお顔なんで描きたいんです!!」（根岸部長、足の長さはうんとデフォルメしてますきね〜）

るし、歳時記の花もしばしば手がけるようになった。「大げさなものでなくても、ちょこっと皆さんに喜んでいただける機会があれば…」と、控えめだが、行動も常に一歩さがって、奥床しい。

「自分に自信がない」という。美人で感じがよくて絵も上手で…、それで自信がないなんて…。首をかしげたくなるがご本人は「もうちょっと色々なことを堂々とやれるように頑張らないと…」と、大真面目に夢いっぱいの日々を悩んでいる。

展開に期待の持てる部署に夢

総務課広報の業務は病院窓口としての応対から始まり、掲載広告の準備、見学の受け入れ、講演会の開催準備、広報誌などの出版物の作成や編集など多岐に亘る。奥も深いから、やりようによっては大きな展開も期待できるやり甲斐に溢れた部署である。「人と人とのつなぎ役で



勝負は観察眼！ 写真の根岸部長を眺めて大まかなスケッチから



2009年暮れ、内科の忘年会用に頼まれてオフに制作した臓器を一部入れて描いた似顔絵。内科の先生方のお顔が浮かぶ傑作では？ きたえはこの真に便利屋で、いずれの方向にも懸け橋になれるように、コミュニケーション力を磨き、縁の下の力持ちになりたい。そのために、与えられた仕事の中で、人の話をよく聞き正確に伝え、自分自身も変わっていきたく」と、仕事への取り組みは真剣だ。

身体を動かすことをこれまであまりしてこなかったが、今回よさこいに初めて挑戦し、達成感を味わい、ただただ無心に汗をかく喜びを知り、「ちょっとクセになりそう（笑）」な経験をした。絵を描く以外にこれといった趣味はなかったが、これで、「趣味はよさこい」といえるようになった。

生来が「のんびり屋なので、周りにイライラされているかも知れませんが」と笑いながら、始まったばかりの広報担当という部署が嬉しくて仕方ないようす。

ところで。「気長に頑張ってください」と東京の有名編集者に励まされた後に入った近森会で、実はまだひとつも新作が創れてない…そう…。ガンバレ！

近森会 広報部長 公文 幸子さん



お気に入り♡

近森オルソ
リハビリテーション病院
理学療法士 明神 早甫

春からずっと欲しくて友達と買い物中にたまたま入ったお店で一目ぼれし即買しました!!。6月に買ったもののすぐに梅雨入り……。

7月に入って乗り始めたんですが最初は次の日筋肉痛になるし、オルソに着くころにはクタクタになってました。



でもいまは「かわいい相棒」になってます。まだ県内しか走ったことがないので、今年の秋には「しまなみ海道」をツーリングできたらと思っています ☆★

● 第30回近森会グループ・バレーボール大会 ●

大会は2010年7月25日(日)サンピアセリーズ体育館で開催され、全9チーム(97名)の参加がありました。今回は、HCU所属のメンバーで構成される「ゴッドフィンガーチーム」が優勝しました。お天気も良く、とても暑い中でしたが体調不良や大きな怪我もなく、みんな楽しく汗を流すことができました。



編集室通信

中三の息子と久しぶりに旅行に出かけ、猛暑の遊園地を一日歩き回った。絶叫マシン、お化け屋敷、水しぶきを頭から浴びる急流すべりなど、子どもが乗りたいという乗り物全てに一緒に乗り、一緒に恐怖を味わい、一緒に叫び、一緒に心から笑った。思春期を迎えた息子とのコミュニケーションに悩んでいた私でしたが、忘れかけていた言葉ではない親子の時間を持てた夏でした。 由似

図書室便り (2010年7月受入分)

- ・ガイドライン外来診療 2010 今日の診療のために / 泉孝英 (編集主幹)
- ・看護必要度第3版 看護サービスの新たな評価基準 / 岩澤和子 (他監修)
- ・事例で学ぶ禁煙治療のためのカウンセリングテクニック / 田中英夫 (編集)
- ・医療経営士テキスト中級 一般講座7 事務管理・物品管理 コスト意識を持っているか? / 山本康弘 (編著)
- ・医療経営士テキスト中級 専門講座3 部門別管理 目標管理制度の導入と実践 / 西村周三 (他編著)

《寄贈本》

- ・早期胃癌アトラス—大西病院、寺田病院検討例の記録 / 大西信行 (他編集)

《別冊・増刊号》

- ・看護学雑誌 別冊 JIN SPECIAL No.88 高齢者救急 救急予防&対応ガイドマップ / 岩田充永
- ・臨床栄養 別冊 JCN セレクト1 ワンス テップアップ経腸栄養 / 佐々木雅也 (責任編集)

《視聴覚資料》

- ・VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.17 No.1 / 永田泉 (他企画・監修)
- ・Audio-Visual Journal of JUA Vol.16 No.3 / 日本泌尿器科学会 (監修)

近森会グループ

外来患者数	18,205人
新入院患者数	809人
退院患者数	848人

近森病院

平均在院日数	14.67日
地域医療支援病院紹介率	84.87%
救急車搬入件数	439件
うち入院件数	204件
手術件数	424件
うち手術室実施	297件
→うち全身麻酔件数	173件

2010年7月の診療数

企画情報室